

函本管内で車上狙い、多発

道警函館方面本部管内で今年9月以降、車上狙いが多発している。9月11日以降の3カ月間で発生した件数は約90件で、被害額の合計は少なくとも150万円に上る。昨年は11、12月で65件の被害があり、同本部は年末に向けて注意を呼び掛けている。

(山田大輔)

貴重品絶対置かないで

同本部によると、今年管内であつた車上狙いは、4月時点では119件。4～7月はほぼなかつたが、8月から徐々に増加。9月11日ごろ、函館市桔梗地区と七飯町大中山、北斗市七重浜で計7件、約40万円の被害があつたのを皮切りに、今までほぼ毎週発生している。

被害届の件数は8～10月で61件。同じ3カ月間で11件あつた昨年ほどではないが、今月は13日までで

既に34件発生する異常事態となつてている。12日夜から13日朝にかけては、せたな町の国道229号周辺で車上狙いが6件相次ぎ、少なくとも計6万円の被害があつた。

事件のほとんどが、運転席または助手席の窓ガラスを割り、財布から現金を抜き取る手口。函館市内での発生状況をみると、10月15日ごろに堀川町と新川町、同28～30日ごろに万代町と亀田町、11月5日ごろに高丘町と上野町など、短期間にあるエリアを集中して狙っているとみられ、集合住宅の駐車場での被害が目立つ。

同本部は、同一犯の可能性もあると分析。犯人が犯行前に現場を下見しているとみており、「見慣れない車や不審な人を見たらすぐ警察に通報してほしい」と呼び掛けるとともに、「車の中には貴重品を絶対置かないで」と注意を促している。情報提供は同本部(0138・31・0110)へ。

